

こんな活動です

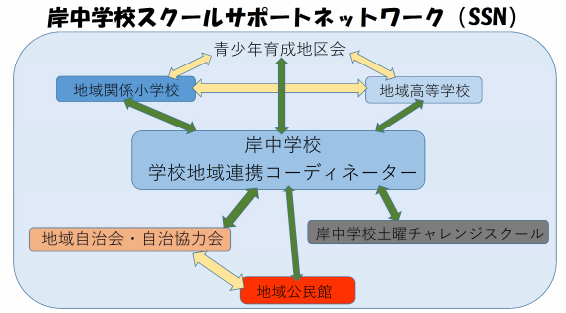
# 学校地域連携コーディネーターを核とした地域の絆づくり活動

埼玉県さいたま市	●活動名 岸中学校スクールサポートネットワーク	●関係する学校名 さいたま市立岸中学校
----------	----------------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成 22 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	18 学級	のべ児童・生徒数	603 人
活動区分	学校支援活動	—		地域人材育成			
	—	放課後子供教室					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—				1人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	令和4年4月1日設置予定		294人				
参考URL	<a href="http://kishi-i.saitama-city.ed.jp/">http://kishi-i.saitama-city.ed.jp/</a>						

●連絡先	さいたま市立岸中学校	☎ 048-822-4022
------	------------	----------------

## 体制図



●活動の概要・経緯  
学校と地域のかかわりを通して「地域の中の学校・地域の一員としての生徒」の意識を育て、地域の絆づくりの活動を推進している。その核として学校地域連携コーディネーター（地域学校協働活動推進員等）の役割は大きく、学校の窓口として学校の情報を地域に発信するとともに、地域との交流の機会を学校に集約させた。地域と連携した様々な取組により、学校は「地域の学校」として温かく見守られはぐまれてきた。多くの自治会のボランティアによるあいさつ運動を通して、気持ちよくあいさつをする生徒が育った。生徒の学習活動を支援する土曜チャレンジスクールでは生徒の希望に応え、ボランティア指導員が学びの向上を支援している。その温かさに応えるように、生徒は地域の活動により積極的に参加するようになった。また、地域の多くの小学生が本校や近隣の高等学校に開設された「わくわく夢講座」に参加し、学ぶ意欲を高めている。学校地域連携コーディネーターのつないだ地域の絆により生徒が地域で生き生きと成長し、将来地域を担う人材となるよう支える仕組みが構築された。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「わくわく夢講座」…青少年育成地区会の声かけで、夏休みに地域の小学校5・6年生の希望者を対象にした、「わくわく夢講座」を実施。パソコンを使用する等本校の教員が小学生が興味をもつような内容の授業を企画している。小学校・本校・高等学校が連携し、地域の小学生の健全育成に取り組んでいる。
- ②生徒会・児童会の連携…本校生徒会と近隣の小学校の児童会が定期的な会合を行い、交流活動を行っている。中学生による小学校へのあいさつ運動、地域行事への両校での参加、小学校の行事への運営の参画（運営スタッフやイベント補助）等を行っている。
- ③部活動の積極的な地域貢献…公民館文化祭では、演劇部の上演、美術部の作品展示、吹奏楽部の演奏等。自治会の祭り等も参加している。
- ④赤ちゃん幼児ふれあい体験…学校と地域住民の協働体制により、命の大切さや親への報恩の心を学ぶ「中学生・赤ちゃん・その保護者」による授業を展開し、生命尊重の教育を推進している。

### 【実施に当たっての工夫】

- ・学校も各地域諸団体もそれぞれ独自に活動を行っているため、連携行事は前年度に協議し、次年度の日程を決定。
- ・実際に企画を形にし実行するのはそれぞれの担当者となるが、互いの担当者を確認し、連携を図ることができるよう調整。
- ・学校地域連携コーディネーターが活動時の事故がないように、事前打ち合わせの際に手順や進め方、安全面等について助言・指導。
- ・生徒が楽しく、また地域の活動が充実するよう、参加人数の確保を考慮し効果的な広報を実施。
- ・地域住民や生徒にとって活動することが負担にならないよう、他の行事や部活動等との日程や回数の調整。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 「わくわく夢講座」に参加した小学生は、本校や高等学校の施設を見学したり、中学校の教員に教わることで、学習意欲と上級学校への興味・関心を高めた。また、進路への期待と意欲も向上し、小学校の授業に対し目的意識をもって積極的に取り組む姿勢がよく見られるようになった。
- 生徒会・児童会の連携により、相互の学校への理解が深まり、児童生徒間の協力体制が構築された。また、小学生の保護者や地域住民には、小学校卒業後の生徒の成長した様子と地域に根差した中学生の姿を見せることができた。
- 部活動単位で参加する地域行事を通して、生徒は地域からの参加依頼に応じる立場から、関係地区の地域住民と共にイベントを盛り上げる運動の一翼を担う立場へと成長した。
- 「赤ちゃん幼児ふれあい体験」授業では、参加した保護者から「生徒の生命尊重への意識が向上する様子を目の当たりにし、充実感を得た」との感想ももらった。このような授業を通して、赤ちゃんや幼児をもつ地域の保護者の学校への関心が高まり、参加希望者が増加した。
- 上記のような取組が、地域の絆づくりや、地域社会の核となる学校の創造に貢献している。

## ●その他

・公民館との協働により、地域の方による着付け教室を実施。・ICTの授業の補助として(株)ベネッセコーポレーションに来てもらっている。・土曜チャレンジスクールでは、毎回パソコンを使用しながらの学習。・未来くるワーク体験(中学生職場体験事業)には、銀行等の多くの企業が協力。



「わくわく夢講座」の様子



「着付け教室」の様子